

アクセスマップ

児童養護施設

双葉学園

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲1丁目5番1号
TEL.078-841-2792 / FAX.078-851-6762

- ・阪神「御影」駅またはJR「六甲道」駅または阪急「六甲」駅から神戸市バス⑩系統「六甲ケーブル下」行きに乗車し、「鶴甲南」バス停下車徒歩約3分



特別養護老人ホーム・短期入所生活介護
デイサービスセンター・居宅介護支援事業所

ファボール星陵

〒655-0038 神戸市垂水区星陵台4丁目4番43号
TEL.078-787-7377 / FAX.078-787-7277

- JR・山陽電鉄利用の場合
 - ・JR「垂水」駅または山陽「垂水」駅から山陽バス②系統に乗車し、「舞子墓園前」バス停下車徒歩約1分
 - ・JR「舞子」駅から神戸市バス・山陽バス⑤系統に乗車し、「星陵高校前」バス停下車徒歩約5分
- 神戸市営地下鉄利用の場合
 - ・神戸市営地下鉄「学園都市」駅から神戸市バス・山陽バス⑤系統に乗車し、「星陵高校前」バス停下車徒歩約5分



地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能型居宅介護事業所

ファボール泉が丘

〒655-0885 神戸市垂水区泉が丘5丁目8番34号
TEL.078-751-5568 / FAX.078-751-5569

- JR・山陽電鉄利用の場合
 - ・JR「垂水」駅または山陽「垂水」駅から山陽バス⑩⑪⑫⑬⑭系統に乗車し、「水道橋」バス停下車徒歩約10分
 - ・山陽「東垂水」駅または「滝の茶屋」駅から徒歩約15分
- 神戸市営地下鉄利用の場合
 - ・神戸市営地下鉄「名谷」駅から山陽バス⑫系統に乗車し、「水道橋」バス停下車、徒歩約10分
 - ・神戸市営地下鉄「学園都市」駅から山陽バス⑪系統に乗車し、「水道橋」バス停下車、徒歩約10分



社会福祉法人

神戸協和会

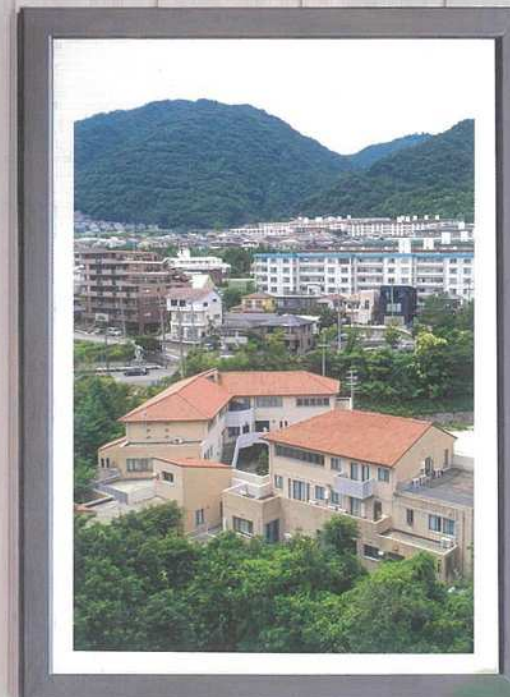
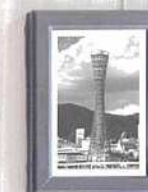
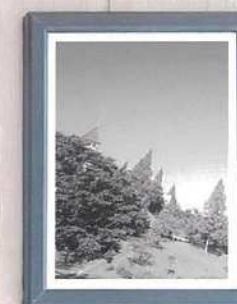
ホームページ
www.kyowakai.main.jp

神戸協和会 で検索

社会福祉法人

神戸協和会

CORPORATE PROFILE



Since 1929, KOBE

ごあいさつ

Greetings from the President

私ども社会福祉法人 神戸協和会は、現在、表六甲の鶴甲に法人本部を置き、灘区・垂水区を中心に複数の事業を展開しています。

昭和3年、神戸市に国立移民収容所が開設され、その後、創立者・大倉睦二は私財を投じ、ブラジル移民保護を目的とする神戸協和寮や、財団法人海外渡航助成会を設立いたしました。昭和20年神戸大空襲により全施設は焼失し、これを契機に創立者は、これまでの公職経験を活かせる、終生の仕事として児童福祉に全精力を傾ける強い決意のもと、昭和27年新たに社会福祉法人 神戸協和会 双葉学園を設立いたしました。

現在では、地域社会より過分なご支援を賜る中、児童福祉や老人福祉に多種・多様な事業フィールドを有する市内屈指の法人として、地域社会に立脚しています。

今は亡き老師（恩師）より「福祉は石田を耕す文化である」との薫陶を受け、愚直に、その言葉に背かず今日まで勇往邁進してまいりましたが、気がつけば多くの石田が未耕作のまま、34年もの歳月が流れました。



財団法人 神戸協和会 双葉学園全景
昭和二十七年二月十一日撮影

「公益」という衣を身にまとった私腹機関から、生きた福祉事業の誕生は望むべくもありません。

「温故知新」、「和魂洋才」を道標とし、これからも、当法人が諸兄諸姉より江湖のご批判を待つことにより、流行に媚びることなく、地域社会が期待する真の福祉事業の実現を目指します。

簡単ではございますが、当職よりのご挨拶とさせていただきます。

理事長 杉森 昭生

法人沿革

Corporate History

- 1929(昭和4)年10月 大倉睦二が神戸市葺合区熊内橋通2丁目13番にブラジル移民保護助成を目的とする「神戸協和寮(定員250名)」を開設
- 1935(昭和10)年12月 事業拡大のため「財団法人海外渡航助成会(定員400名)」に組織変更
- 1945(昭和20)年6月 米軍の阪神大空襲により全施設が焼失
- 1946(昭和21)年8月 全焼した神戸協和寮跡地に戦災孤児・浮浪児等の救済保護を目的とする「神戸協和会 双葉学園(定員120名)」を開設
- 1950(昭和25)年4月 「財団法人神戸協和会 双葉学園」に組織変更
- 1952(昭和27)年5月 社会福祉事業法の施行により、「社会福祉法人神戸協和会 双葉学園」に組織変更 大倉睦二が理事長に就任
- 1960(昭和35)年3月 児童育成上の理由から、神戸市灘区高羽字西山1丁目1番に全面移転
- 1963(昭和38)年3月 大倉睦二死去のため、後任として常任理事 大倉正昭が理事長兼学園長に就任
- 1965(昭和40)年3月 神戸市東部海岸埋立鶴甲都市計画により、神戸市灘区鶴甲1丁目5番1号に再移転
- 1997(平成9)年10月 児童養護施設「双葉学園(定員90名)」を全面立替
- 2000(平成12)年3月 特別養護老人ホーム「ファボール星陵」を神戸市垂水区星陵台4丁目4番43号に開設
- 2006(平成18)年11月 地域密着型特別養護老人ホームと小規模多機能型居宅介護事業所を併設した「ファボール泉が丘」を神戸市垂水区泉が丘5丁目8番34号に開設
- 2014(平成26)年7月 児童養護施設「双葉学園」の認可定員を45名に変更
- 2015(平成27)年5月 大倉正昭の名誉会長就任に伴い、常務理事・副理事長 杉森昭生が理事長に就任
- 2019(平成31)年4月 児童養護施設「双葉学園」を大規模リフォーム 小規模グループケアを開始
- 2020(令和2)年4月 児童養護施設「双葉学園」の認可定員を35名に変更

法人概要

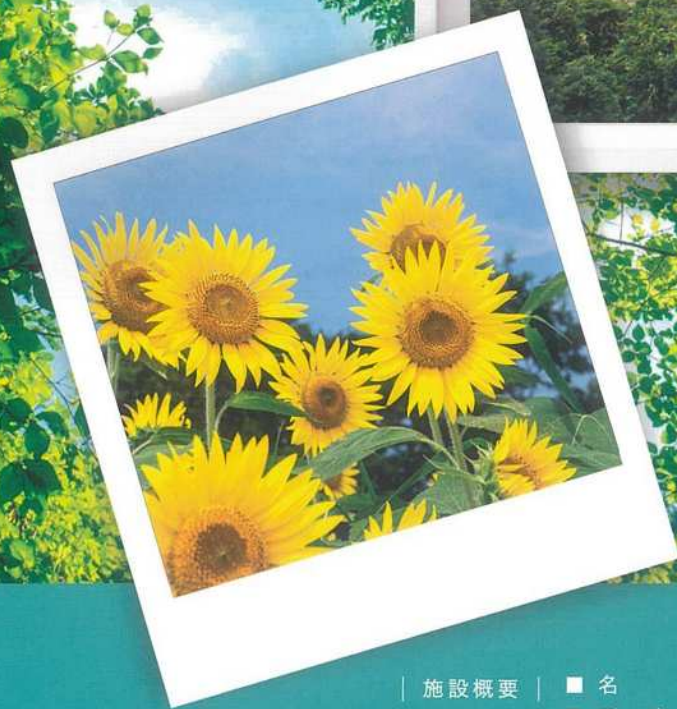
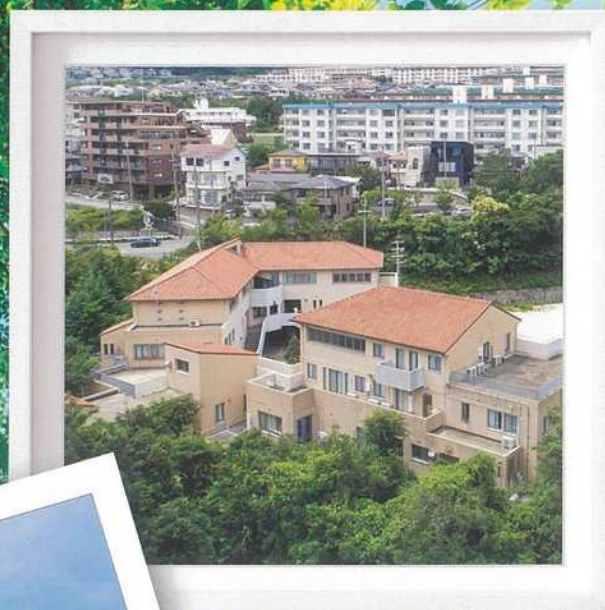
Corporate Overview

- 名称 / 社会福祉法人 神戸協和会
- 所在地 / 神戸市灘区鶴甲1丁目5番1号
- 設立 / 1952年(創立1929年)
- 代表者 / 理事長 杉森昭生
- 事業内容 / <第1種社会福祉事業> 児童養護施設の経営、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設)の経営
<第2種社会福祉事業> 子育て短期支援事業の経営、老人短期入所事業の経営、老人デイサービス事業の経営、小規模多機能型居宅介護事業の経営

ひとりひとりの子どもによりよい育ちを。

双葉学園は、いろいろな事情によって家庭で暮らすことが困難になったお子さんを預かり、家族に代わって養育を行う児童養護施設です。

1946年8月、まだ空襲の焼け跡が残る神戸の街で、戦災孤児の保護施設として開設されました。それから80年近い歳月が流れ、多くの子どもたちがここで暮らし、学び、遊び、それぞれの人生への旅立ちを果たしました。現在では、できるだけ普通の家庭に近い環境で生活できるよう、小規模グループケアを実践しているほか、子どもたちの心のケアや自立支援にも力を入れています。



児童養護施設 双葉学園

(神戸市灘区)

施設概要

- 名称 / 児童養護施設 双葉学園
- 所在地 / 神戸市灘区鶴甲1丁目5番1号
- 設立 / 1946年
- 定員 / 35名
- 敷地面積 / 2,832.43㎡
- 延床面積 / 1,639.81㎡
- 構造・規模 / 鉄筋コンクリート造・2階建、3階建

小規模グループケアユニットで、心通いあう家庭的養育を実現。



生活空間の中心にLDKを置き、子どもたちの居室や浴室、洗面室を配した小規模グループケアユニットで構成され、1ユニット6人から8人の子どもと担当職員が、寝食をともにしています。施設でありながら普通の家庭に近い生活が送れるよう配慮されています。

①居室 ②③④LDK

施設周辺は神戸有数の文教地区。子育てに最適なロケーション。



双葉学園は、六甲の山裾に広がる住宅街の一角にあります。ここからは阪神間の街並みと大阪湾が一望のもと。近くには神戸大学のキャンパスがあり、神戸有数の文教地区としても知られるエリアです。子どもたちの育成には最適な環境といえます。

①鶴甲からの眺め ②鶴甲小学校 ③神戸大学 ④鶴甲公園

生活サポートから、心のケア、自立に向けた支援まで。

子どもたちの生活をサポートする児童指導員や保育士に加え、心のケアに携わる臨床心理士、家庭復帰へ向けた調整を行う家庭支援専門相談員や自立支援担当職員、里親支援専門相談員など、専門性の高い職員集団が子どもたちの支援に幅広く関わっています。

